

## 令和7年度 学校経営方針

北九州市立霧丘中学校

校長 甲斐 孝一

### 1 教育理念

「一人ひとりを大切に、一つひとつを大切に」

### 2 学校教育目標

人権尊重の精神を重んじるとともに「生きる力の育成」を目指し、「確かな学力」「豊かな心」と「健やかな体」を育む教育の充実に努める。

### 3 校訓

「自主」「明朗」「努力」

#### 【目指す生徒像】

「自主」＝自ら学び・考え、主体的に判断し、正しい行動ができる生徒

「明朗」＝明るく元気な生徒

「努力」＝困難にくじけず、自分の目標や夢の実現に向かって頑張る生徒

### 4 本年度の重点目標

生徒が安全で安心して学びを深めることができるように配慮しつつ、「確かな学力・健やかな体を育成する」、「心の育ちを推進する」、「意欲を高めて子どもの特性を伸ばす」ことに重点的に取り組み、「信頼される学校づくり」を推進する。

### 5 重点目標達成のための具体的取組

#### ① 学習指導

- ・ 1時間1時間の授業で、基礎学力の向上と思考力・判断力・表現力を高める。
- ・ 1時間の授業の中に学び合う活動(～し合う)を取り入れ、自分の意見を述べる機会をつくる。
- ・ 教職員の指導力の向上を図り、ICTを活用した授業実践に努める。
- ・ 学習規律として授業に対する生徒の態度及び教室の環境を毎時間確認し徹底する。
- ・ 評価等をもとに個に応じた指導を行い、基礎的・基本的事項の確実な定着を図る。

#### ② 健康なからだと豊かな心

- ・ 豊かな体験を通して自己の生き方について考えを深める道徳教育を推進する。
- ・ 体育的行事を通して、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成に努める。
- ・ スクールカウンセラーを活用し、カウンセリング体制の充実を図る。
- ・ 生徒・教職員の健康保持増進に努める。

#### ③ 人権教育

- ・ 人権教育の視点を基に、各教科等全体を通じた適切な指導により、自他共に大切にする思いやりの心を育成し、いじめや差別問題の解消に努める。

- ・ 教育活動のあらゆる場面において、人権の意義・内容について指導し理解を深めさせる。
- ・ 教職員自らが人権意識を深めるとともに、地域の実態に応じた人権問題の取組体制を確立する。
- ・ 学校間や地域との連携を深め、地域の実態に応じた人権問題に対する取り組みを行う。

#### ④ 望ましい学級・学年集団をつくるために

- ・ 教師と生徒、生徒相互の心のふれあいを基盤にした学年・学級集団づくりに努める。
- ・ 日常の授業の中で、励まし合い、助け合う学級づくりに努める。
- ・ 情報の共有化を前提とした学年・学級経営の推進に努める。
- ・ 生徒のよさを認め、伸ばし合う学年・学級経営の推進に努める。

#### ⑤ 生徒指導

- ・ 生徒指導の基本（あいさつ）  
「登校する生徒を笑顔で迎え、下校する生徒を笑顔で送る」
- ・ 生徒指導の留意点  
「見落とさず」「見逃さず」「見放さず」「記憶よりも記録」
- ・ 常に危機管理の「さ・し・す・せ・そ」を念頭に置き、報告・連絡・相談・確認を怠らず、教員の個々の特性をいかしながら全職員で協働して指導にあたる。
- ・ 全教職員の共通理解を図りながら、生徒指導主事を中心とした生徒指導体制の確立及び指導の充実を図る。（特定の教員に指導を任せるのではなく、組織で対応する。）
- ・ 問題行動に関する指導については、全ての教師が一致して、カウンセリングマインドをいかした指導にあたる。また、家庭や関係機関との連携を適切に行う。
- ・ 潜在化するいじめを防止するため、早期発見・早期対応に努める。
- ・ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携を図り、情報交換に努め、長欠・不登校生徒等の指導にあたる。
- ・ 事故、問題行動に対する初期対応を的確に行う。事故・問題行動発生時には、即、対処する。（病院等対応、管理職へ連絡・報告、家庭連絡）

#### ⑥ 進路指導

- ・ 3年間の教育活動を通して、計画的・継続的・組織的な進路指導を実施するとともに、家庭・地域・関係機関との連携を図り、適切な進路指導を行う。
- ・ 将来の生き方と、進路の適切な選択に関する指導の充実を図る。
- ・ 体験学習などの体験的活動を实践し、将来にいかす指導を行う。

#### ⑦ 信頼され、開かれた学校の実現

- ・ 学校開放週間や学校行事において学校を開放し、情報発信を積極的に行う。
- ・ 家庭・地域・関係機関との積極的な情報交換により、綿密な連携を図る。
- ・ 学校行事や学年行事等を通して地域との交流を深める。